The world of space through my eyes

20年来グローバル コミュニケーションズ エキスパート。元JAXAエグゼクティブ アドバイザー(広報・国際担当)、国立大学法人山口大学客員教授(国際関係+コミュニケーション論)、評論家・オピニオンリーダー。東京生まれ、英国育ち。講演、テレビ、執筆、政府委員など、マルチに活躍する中で、IRと都市開発のコンサル会社代表も務める。
http://www.nishiuramidori.com

連載 第3回

“国際派大和撫子”が伝える宇宙の開発現場

にしうらみどりの

「宇宙の窓から」

JAXA COSMODE

「はやぶさ」映画が3本も世に出たことは大変喜ばしいことです。「JAXAさんは映画事業も始めたのですね」と、夢のような評価をして頂くこともありました。言うまでもなく、製作に当たって協力したまでで、映画ビジネスに関してはシロウトですから、嬉しい買いかぶりだったわけです。

最近では「ファッションビジネスにも参入?」と、JAXAのイメージもそこまでお洒落に向上したかと思える、これまた嬉しい誤解をして頂くことがあります。

これは、ひとえに「JAXA COSMODE」のお陰です。こちらの取り組みは2008年から始まっており、どういうことかといいますと、JAXAの技術を用いたもの、また、それらを民間企業の方々とのコラボレーションから生み出された商品に、「JAXA COSMODE」マークを付与する、ということです。

そうすることにより、宇宙の魅力を地上の生活へ、より身近にお届けすることができます。まさに皆さまの生活に豊かさ、安全、安心を実現するJAXAの宇宙開発活動の一端であるわけで、こうした目的を一目瞭然、明確にするブランド活動なのです。

従来は、「民間企業との共同研究から生み出された商品」、あるいは「JAXAが保有する知的財産を活用した商品」等を対象としていました。が、この度、「きぼう有償利用事業で生み出された商品」、及び「JAXAの画像・映像を利用した商品」に拡大しました。

皆さまには釈迦に説法でしょうけれど、念のために記述しますと、「きぼう」(kibo)とは国際宇宙ステーション(ISS)にあるJAXAが開発した日本の宇宙実験棟「Japanese Experimental Module(JEM)」のことです。

話を戻すと、今回の拡張によってJAXAの人工衛星が撮影した地球の画像を用いたファッション製品なども「COSMODE」の対象になったので、前述のステキな誤解も生じたわけです。

「COSMODE」マーク製品は人や環境問題にも役立っています。代表的なのは「断熱塗料」でしょうか。ロケットの先端部は大気圏を通過する時、大気との摩擦で300度を超える高温になります。内部に搭載している人工衛星を守るために開発された断熱技術を民間の方々にも幅広く活用していただくために転用した商品です。省エネ住宅、船舶や自動車等にも使用され始めています。

東日本大震災の被災者の方々にも、「COSMODE」商品を製造・販売している企業が断熱塗料をはじめ、消臭下着、浄水器などの商品をお届けしました。宇宙開発で生み出された技術が被災地の方々のお役に立ったのです。

さあ、ロゴも一新した新生「JAXA COSMODE」ですが、決して一時の話題に終わることなく、これからも更にJAXAの宇宙活動から得ることができた最先端のアイデアを人々に届けて役立っていって欲しいと、切に願います。

JAXA COSMODE

(C)JAXA

問い合わせ：http://aerospacebiz.jaxa.jp/